

表紙/佐藤隆太『エブリ・ブリリアント・シング』 撮影:中村彰男  
裏表紙/『ロスマルスホルム』  
企画・発行/公益財団法人豊橋文化振興財団  
編集・デザイン/味岡伸太郎+有限公司STAFF  
令和5年8月発行63号[隔月発行]



# PLAT ニュース NEWS



# 9

1 [金]—3 [日] 『エブリ・ブリリアント・シング～ありとあらゆるステキなこと～』

●PLAT アートスペース

8 [金] プラットワンコインコンサート

千賀さゆり&安成紅音リートデュオ「詩人アイヒェンドルフの森」

●PLAT アートスペース

9 [土] 成田萌 ヴァイオリンリサイタル●PLAT アートスペース

15 [金]—16 [土] アル☆カンパニー『POPPY!!!』●PLAT アートスペース

16 [土] 岩屋病院90周年記念企画「依存症と共に生きる」●PLAT 主ホール

17 [日] 南イタリア伝統音楽&舞踊「灼熱のタランテッラ」●PLAT 主ホール

22 [金] 野村万作・野村萬斎 狂言公演2023●PLAT 主ホール

23 [土・祝] Sunset Live 2023 ～RIKA & Her Friends～●PLAT アートスペース

25 [月]—26 [火] 豊橋演劇鑑賞会 第298回例会

エイコーン公演『愛の賛歌—ピアフ』●PLAT 主ホール

# 10

1 [日] 劇団四季 ファミリーミュージカル『ジョン万次郎の夢』

●PLAT 主ホール

1 [日] Tutti Autumn Concert 2023●PLAT アートスペース

7 [土] 障害×老い×ディスカッション  
『うけいれる身体・うけいられない身体』●PLAT アートスペース

8 [日] 佐藤朱実デビュー 1周年記念 歌と踊りの祭典●PLAT 主ホール

13 [金] 中澤卓也コンサートツアー 2023(弾き語りツアー)

●PLAT 主ホール

15 [日] カッセルオペラアカデミー 第14回声楽発表会

●PLAT アートスペース

19 [木]—22 [日] ミュージカル『天翔ける風に』●PLAT 主ホール

28 [土]—29 [日] 『ロスマルスホルム』●PLAT 主ホール

# PLAT ニュース NEWS



公益財団法人  
豊橋文化振興財団情報誌  
2023年9月—10月

vol. 63



TOYOHASHI  
ARTS  
THEATRE  
PLAT



# CONTENTS

目次

## 1

目次  
表紙の顔

## 2

INTERVIEW:1

ミュージカル

『天翔ける風に』

ダンスナンバーや立ち回りも入って、エンターテインメントとしても楽しめます。

珠城りょう

## 5

INTERVIEW:2

『エブリ・ブリリアント・シング』

この舞台は観客の皆さんと一緒に物語を紡いで完成する作品です。

佐藤隆太

## 7

COLUMN

南イタリア伝統音楽&舞踊

灼熱のタランテッラ

激しく打ち鳴らされるビートと

情熱的な旋回舞踊が巻き起こす

興奮とトランシーな快感。

## 9

INFORMATION

PLAT主催公演情報

## 13

PURA PURA

バラコの寄り道ぶらぶら

演劇少女からの呼び声。

## 14

SPONSOR

SUPPORT

TICKET CENTER

# INTERVIEW

インタビュー



撮影:岩村美佳

珠城りょう[たまきりょう]

1988年10月4日生まれ、愛知県出身。2008年、宝塚歌劇団に94期生として入団。月組公演『ME AND MY GIRL』で初舞台。16年、入団9年目で月組トップスターに就任。近年では極めて異例のスピード出世となった。2021年8月、『桜嵐記/Dream Chaser』東京公演千秋楽をもって、宝塚歌劇団を退団。退団後の活動は、珠城りょう1st concert『CUORE』(22年)、舞台では『8人の女たち』(22年)、舞台『マヌエラ』(23年)、ドラマ日曜劇場『マイファミリー』(22年TBS)、映画『わたしの幸せな結婚』(23年)など。また22年10月、オリジナルアルバム『Freely』、カバーアルバム『Shine』でアルバムデビューを果たし、コンサートツアー「RYO TAMAKI LIVE TOUR 2022～Freely～」を開催した。7月期TBS日曜劇場『VIVANT』出演。



カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ

イタリア南部に伝わる民俗音楽/舞踊。タランテッラを代表する最重要フォーク・バンド。失われつつあったプーリア州サレント地方の伝統文化をよみがえらせるべく1975年に結成され、タランテッラの復興とモダンゼーションの運動を牽引してきた。古来より様々な民族が去来する地中海の十字路口プーリア州は、いくつもの文明/文化(ギリシャ、ローマ、トルコ、アラブ、ノルマン等々)が堆積、混交してきた地域であり、C.G.S.の音楽はその結晶とも言える。2007年にバンド・リーダーはグニエーレ・ドゥランテから、タンブレロの名手である息子マウロに引き継がれ、メンバーも世代交代。現在は女性ダンサーを含む7人編成で活動。リーダーのマウロは、ルドヴィコ・エイナウディ、ステューワート・コーブランド、ジョヴァンニ・ソッリマなど世界的なアーティストとも共演し、その経験をC.G.S.に取り入れつつ新しいサウンドを展開。精力的に世界ツアーを行い、2018年にワールド・ミュージックの最も栄誉ある音楽賞、英Songlines誌の年間ベスト・ワールド・ミュージック・グループ賞を受賞。

# COVER

表紙の顔



撮影:御堂義典

佐藤隆太[さとうりゅうた]

1980年生まれ。東京都出身。大学在学中だった99年に宮本亜門演出のミュージカル『BOYS TIME』(PARCO劇場)で舞台デビュー。テレビドラマ「池袋ウエストゲートパーク」、「木更津キャッツアイ」、「プライド」、「海猿 UMIZARU EVOLUTION」などの話題作に次々と出演し、「ROOKIES」で連続ドラマ初主演を務める。また、初の主演舞台となった『ピロクシー・ブルース』(09)、『ダブリンの鐘つきカビ人間』(15)、『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』(17)、『いまを生きる』(18)などに出演するなど、テレビや映画と並行して舞台にも出演している。現在はNHK大河ドラマ「どうする家康」に出演中。その他、U-NEXTのオリジナルドラマ「MALICE」の配信も控えている。



『ロスメルスホルム』

森田剛[もりたごう]

1979年2月20日生まれ埼玉県出身。95年、V6のメンバーとしてCDデビュー。2021年に解散後、俳優として新たなスタートを切る。近年の主な出演作に【舞台】『みんな我が子』(22)、『FORTUNE』(20)、『ドラマ』『インフォーマ』(23・KTV)、『ハロー張りネズミ』(17・TBS)、『映画』『前科者』(22)など。自身がプロデュースした映画『DEATH DAYS』(21・22)が公開されるなど、活動の幅を広げている。三浦透子[みうらとくと]

1996年10月20日生まれ、北海道出身。02年にサントリーのCM「なっちゃん」で2代目なっちゃんとしてデビュー。以降、ドラマ・映画と映像を中心に活躍。近年の主な出演作に【舞台】『Secret War-ひみつせん-』、ミュージカル『手紙』2022(22)、『ドラマ』『大奥』(23・NHK)、『ブラッシュアップライフ』(23・NTV)、『エルビス-希望、あるいは災い-』(22・CX)、『鎌倉殿の13人』(22・NHK)、『映画』『山女』『飛べない風船』『そばかす』『余命10年』(22)、『ドライブ・マイ・カー』(21)など。

# INTERVIEW

インタビュー

珠城りょう、屋良朝幸、駒田一、剣幸ほか  
様々なミュージカルで活躍してきた実力派俳優が集結!  
ミュージカル

# 『天翔ける風に』

10月19日[木]18:00開演 20日[金]、21日[土]、22日[日]13:00開演

演出・振付=謝珠栄

原作=ドストエフスキー 脚色=野田秀樹『贖作・罪と罰』より

出演=珠城りょう、屋良朝幸/今拓哉、東山義久、原嘉孝、加藤梨里香/駒田一、剣幸ほか

会場=PLAT主ホール

『天翔ける風に』は、ドストエフスキーの小説『罪と罰』を元に野田秀樹が幕末の日本を舞台に描いた『贖作・罪と罰』を、謝珠栄が自らミュージカル化し、2001年に初演された傑作舞台。謝珠栄が溢れるイマジネーションを駆使した空間演出で魅せ、スタイリッシュに音楽の美しさを際立たせ、これまでも高い評価を受けてきた作品。この人気ミュージカルを、10年ぶりとなる2023年秋、東京芸術劇場、兵庫県立芸術文化センター、穂の国とよはし芸術劇場PLATにてリニューアル上演する。

主演は、蒲郡市出身で宝塚歌劇団入団からわずか9年という早さでトップスター就任を果たし、2021年8月の退団まで月組を牽引してきた珠城りょう。退団後、初めてのミュージカル出演となる。宝塚退団後に出演した『8人の女たち』『マヌエラ』でも、強い女性像を演じてきた珠城が、また新たに、男性社会の中で生き抜く女性、三条英を演じる。

英は、理想を夢みる江戸開成所に通う塾生。彼女以外は全て男という社会で孤軍奮闘していた。生活が苦しい人々から法外な利息を取る高利貸しの老婆の殺害を計画するが、偶然そこに居合わせた老婆の妹までも殺してしまう。この予定外の殺人が英の心を大きくかき乱す。

英と同じ志を持ち、動揺する英の様子に気づき、彼女を陰ながら心配する才谷梅太郎を、俳優としての実力を着実に積み重ねるだけでなく、卓越したダンス技術とセンスで振付やLIVEプロデュースなど多方面での活躍をみせている屋良朝幸が演じる。才谷も大きな時代の流れの中心にいた。

男尊女卑が当然という価値観であった時代に、男性の中に一人混じって、迷い、悩みながらも自分の信じた人生を駆け抜ける主人公・三条英。その姿は令和の時代を生きる観客に何を伝えるのか。謝珠栄が豪華キャストと共に描き出す日本版『罪と罰』の世界。



ドストエフスキーの『罪と罰』が、  
野田秀樹、謝珠栄を経て、ミュージカル化!





## ダンスナンバーや立ち回りも入って、 エンターテインメントとしても楽しめ ます。

出演

珠城りょう

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化プロデューサー

矢作——宝塚に行かれたきっかけをお伺いできますか。

珠城——幼少期はスポーツばかりやっていました。クラシックバレエを始めたのも小学校に入る前後くらいに友人の発表会を観に行き、自分もやりたくなったのです。そこで宝塚というワードが飛び交っていて、中学2年生の時に初めて宝塚大劇場へ行きました。それでファンになって受験しようと思ったのです。高校は岡崎の光ヶ丘女子高等学校に行きましたが、中退する形で宝塚に入団しました。

矢作——退団後、初ミュージカルとお伺いしていますが、ミュージカルでは、どのようなことを楽しみにしていらっしゃいますか。

珠城——ミュージカルといえど、野田秀樹さんの戯曲『贖作・罪と罰』が元になっていて、かなり芝居が主になっています。そこから歌に入っていき流れを違和感なく、しっかりとしたベースをつくってやっていきたいと思っています。また、ダンスナンバーや立ち回りも入ってきますので、エンターテインメントとしても楽しんでいたシーンよりはより多く盛り込まれています。そういったところはすごく楽しみです。

矢作——今回の『天翔ける風に』は、何回も再演され、宝塚の先輩方が演じてこられた三条英役を演ずることについて期待感や意気込みをお伺いできますか。

珠城——そもそもこの三条英という役は、大竹しのぶさん、松たか子さん、香寿たつきさん、朝海ひかるさんと、本当に名だたる方々が演じてこられました。それに自分が挑戦できるのは役者として光栄なことです。ミュージカルで、芝居だけではなく歌に踊りに殺陣と、やらなくてはいけないことがとてもたくさんあるので、かなりハードルは高いと思います。それだけ挑戦する価値のある作品であり役なので、しっかり準備をして稽古に励んでいきたいと思っています。今はとにかく、早く台本が欲しいなと思いつつ、楽しみに待っています。

矢作——今回は、幕末の頃の話で、和物と言えば和物ですが、宝塚時代はあまり和物はやっていらっしゃらなかったのでしょうか。

珠城——割合としては洋物のほうが多いのですが、比較的私はやらせていただいているほうです。宝塚退団公演も『桜嵐記』という作品で南北朝時代の武将の役を演じ、着物を着て、立ち回りもやらせていただいています。

矢作——今回共演される皆様に対して、どういった期待感をお持ちですか。

珠城——剣幸さんは退団してからOGの記念公演で一緒にしましたが、こういう作品としては初めて一緒

します。皆さん初めましての方ばかりですが、ミュージカルをメインにご活躍なさっている方々ばかりなので、安心というか、皆さんから学ぶことが多いだろうなと思っています。退団してから立ち回りに挑戦するのは初めてで、男性がやるとスピードとか力強さも違うと思うので、男性と一緒に混ざってやるとどんな雰囲気になるのか、それも楽しみです。

矢作——今回、印象的に出てくる「ええじゃないか」は、豊橋発祥説もあります。作品としては東三河が舞台ではないですが、豊橋でやるのにちょうどいいと思っております。珠城さん自身、東三河で初めて舞台に立つということに対しての意気込みをお伺いできますか。

珠城——すごくうれしいです。豊橋は本当に慣れ親しんだ地で、今はなき豊橋西武があったときは西武饅頭を買って帰った思い出もあります。退団してから共演した俳優さんたちから豊橋で公演すると聞いたことがあり、失礼ながら、豊橋にそんな劇場あったかなと思っていたら、オープンして10年ということで、こんなすてきな劇場が地元にあるのは本当にうれしいなと思いました。私は蒲郡市の観光大使も務めておりますので、これを機に豊橋と一緒に東三河を知ってもらえたらと、楽しみです。こういう機会をいただけて良かったです。

矢作——生まれ育ったエリアの方々に舞台を観てもらうことについてはどう思われていますか。

珠城——すごく不思議です。私も幼いときは演劇を知らなかったように、ミュージカルや演劇など舞台に触れる機会が少ない方も多くいらっしゃるのではないかと思います。これを機にエンターテインメントがテレビや映像だけではなく、こういうのもありますよと知っていただけたらうれしいです。最近はミュージカル、舞台だけでなく、映像にも挑戦して、いろんなことをやらせていただいています。地元からこういう人間が出たということを知っていただけるだけでもうれしいです。

矢作——地元の皆さんも大いに期待されていると思います。最後にご来場されるお客さまにメッセージをいただけますか。

珠城——今回、自分の地元で、慣れ親しんだ土地で、初ミュージカルに挑戦でき、主演で舞台に立たせていただくことを、とても幸せに思います。今まで舞台などを観る機会がなかった方々にもぜひ足を運んでいただき、東三河の魅力をいろんな方に知っていただけたらと思います。地元の方、少しでもご興味がある方はぜひ観に来ていただけたらうれしいです。精いっぱい頑張りたいと思います。

矢作——ありがとうございました。



世界中をあたたかい感動で包み込んだ一人芝居

# 『エブリ・ブリリアント・シング』

～ありとあらゆるステキなこと～

9月1日[金]19:00開演

2日[土]、3日[日]14:30開演

作=ダンカン・マクミラン、ジョニー・ドナヒュー

翻訳・演出=上田一豪

出演=佐藤隆太

会場=PLATアートスペース

助成=(一財)地域創造

NEWBEE?



## この舞台は観客の皆さんと一緒に

物語を紡いで完成する作品です。

出演 佐藤隆太

取材・文 東端哲也

方で言葉少なめでスピーチを終える方だっているけれど、その場合でも必ず僕がフォローしますし、観客の皆さんが物足りなさを感じるなんてことはないはず。勇気を出して参加してくれた方を絶対に後悔させないのが、自分に課せられたいちばん大切な役割だと思っています。だから何が起ころうとも大丈夫！ 実際、同じ話なのにその日によって違う…というか二度と同じ舞台はないので、何度も足を運んでくださるお客さんもいらっしやいます。今日はどうなるんだろう？って。

— 物語は、自ら命を絶とうとした母親を何とか元気づけようと、“語り手”が子どもの目線で思いつく限りの「ありとあらゆるステキなこと」をノートに書き連ね始めた7歳の頃の記憶で幕を開けます。「アイスクリーム」や「水鉄砲合戦」に始まり「遅くまでテレビを観てもいこと」とか「レイ・チャールズの“YOU”の歌い方」になったりして、彼が成長して恋に落ちたり結婚したりする人生の様々な局面にその「ステキなこと」リストが深く関わってきます。時には長文もあり、詩のフレーズみたいなのも面白いですね。

佐藤— もともと母親のために書いていたものが結局は主人公自身を支え、つまづいた時に立ち上がるきっかけをくれることにもなるんです。身の回りのちよつとしたことをステキだと思うその前向きさが大切なんです。観てくれたお客さんの中には自分もやってみようって、リストを書き始めた方もいらっしやるようです。— 劇中に様々な音楽が絶妙なタイミングで登場して観客を引き込むのも楽しいですね。でも、決してコメディではないし、むしろ主人公に起きた悲しい出来事が物語のベースになっていて、シリアスで悲劇的な場面もあります。

佐藤— 人生っていいことばかりじゃなく、うまくいかないことだっていっぱいある。たとえ同じ体験をしていなくても、それぞれが自分と重ね合わせて共感する部分があると思います。みんなで“語り手”を応援したくなるし、僕自身も演じながら心から彼に幸せになって欲しいと願う。そんな熱い想いが自然と込み上げてくるので、テーマとして重たいものを扱っていながら、誰もが明るく晴れやかな気持ちで劇場を後にすることができるのが、この作品の持つ最大の魅力だと思います。

— 今回、新たに演出・翻訳を手掛けられるのは、舞台「いまを生きる」でも佐藤さんと組まれた上田一豪さんです。

佐藤— とても信頼できて気の合う上田一豪さんとまた一緒にできることで、初演以上に素晴らしい舞台を作り上げたいと意気込んでいます。観劇が初めてという方も大歓迎、ぜひ足を運んでみてください。ではPLATでお会いしましょう！

2013年に英国で誕生してから世界中で翻訳上演を重ね、日本でも2020年に初演ツアーが行われた「エブリ・ブリリアント・シング～ありとあらゆるステキなこと～」。全国から再演を望む声が寄せられていた本作が今年、豊橋での上演が決定。観客参加型という独自の形態をとるこの一人芝居で、観客を“自分の物語”に引き込むという難役に佐藤隆太が再び挑む。

— まるでトークセッションのような雰囲気で行進するユニークな舞台です。観客は事前に配られたカードの自分の番号が呼ばれるとそこに書かれた言葉を読み上げたり、時には登場人物のひとりとして発言したりもするとか。

佐藤— 前回のツアーでは、大げさでなく想像していた以上に多くの奇跡的な瞬間が生まれました。参加型ということで、なかには緊張されたお客さんもいらっしやたかと思うのですが、アクシデントや流れが止まるようなこともなく、むしろ会場全体を感動で包みこんでくれるような方が沢山いらっしやいました。僕だけじゃなく話の世界に加わってくださった方すべてが全力で役に取り組んでくださるので…例えば声が小さい人も、頑張っって演じてくれている姿がみんなの心を打つんです。そのひとつひとつが積み重なって作品を豊かにしてくれる。だから決して自分だけで作りあげる舞台ではなく、その場に居合わせた全員一緒に揃ってゴールに辿り着くような達成感がありました。

— “語り手”である佐藤さん自身が開演前に会場で番号のついたカードを配布したり、メインの登場人物（※例えば主人公の恋人役のサムなど）として大きく物語に関わってくれそうな人に声をかけたりもされるとか。他の演劇作品ではあまり見ない光景ですよ。

佐藤— 「この人をお願いしようかな…」というのは、ある程度、考えながらカードをお配りして、皆さんとコミュニケーションをとらせていただいていたいました。後半の回になると、積極的に参加をしようとしてくださる方が沢山観に来てくださっているという実感はありましたね。とにかくこの作品に失敗なんてないこと、僕が全力で皆さんを楽しませるので何の心配もいらないうってしっかり説明します。だから開演前の30分間がとても大切です。

— “語り手”と観客のやりとりはアドリブのように見えて、実は戯曲の段階からかなり計算され尽くした演出になっています。中には、主人公の父親として結婚式のシーンで自由にスピーチを依頼されるような、なかなか難易度の高そうな役もありますが…

佐藤— でも本当に素晴らしいスピーチを披露してくださった方がいて、僕もその場で初めて聴いて驚いたのですが、会場も割れんばかりの大拍手でした。—



北はアルプス山脈南端から南のシチリア島まで、イタリアでは各地で郷土色豊かな伝統音楽／民俗芸能が継承されてきたが、世界の音楽市場で今世紀に入ってから最も注目を集めてきたのがタランテッラだろう。そして、その象徴的存在が、今回遂に初来日を果たすカンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ(CGS)である。南イタリアの太陽のまぶしさと大地の脈動、そしてローカル・コミュニティの誇りをこれほどダイレクトに感じさせてくれるパワフルな音楽は他にない。

タランテッラは、イタリア半島南部で大昔から継承されてきた民俗舞踊／音楽だ。巷間、「毒蜘蛛タランテッラに噛まれた人が激しく踊って汗と共に毒を排出するためのダンス音楽」などとも言われるが、実際にはタランテッラにはほとんど害がなく、精神的危機や不安に陥った人々による土俗的／宗教的な癒し行為として始まったと考えられる。

ひとくちにタランテッラといっても、その名称は地域ごとに異なる。サレント地方(半島のかかと部分)を含むプーリア州では「ピッツィカ(Pizzica)」、その西のバジリカータ州(半島の土踏まず部分)やカラブリア州では「パストラーレ(Pastorale)」、ナポリを中心とするカ

ンパーニャ州では「タンムリアータ(Tammurriata)」と呼ばれてきた。そして、ステップやメロディにも細部で違いがあるのだが、サウンドの最大の特徴としていずれにも共通するのが、高速3連符を元にした2ビートというリズム構成であり、時に数時間にも及ぶその熱狂空間が生み出す祝祭的トランス感覚だ。

プーリア州サレント地方を拠点とするCGSは1975年の結成から半世紀近くにわたり、タランテッラの中でも最も古い形態、いわば原型と考えられるピッツィカの復興とモダニゼーションに打ち込んできたヴェテラン・バンドであり、現時点での最新作『メリディアーナ(日時計)』まで編集盤も含めると20枚以上のアルバムを発表してきた。

1970年頃から本格化したイタリアのフォーク・リヴァイヴァル運動は当初は左翼思想とも連動し、ポリティカルかつ学術的な民俗音楽という側面が目立っていたが、プログレッシヴ・ロックとの相互影響もあって次第にサウンドそのものの同時代化、大衆化(ポップ化)へとベクトルを移していった。とりわけスペクタクル性という点でも際立っていたプーリア州のピッツィカは、生々しい土俗性を湛えたポップ・ミュージッ

## 松山晋也

音楽評論家

興奮とトランシーな快感。  
情熱的な旋回舞踊が巻き起こす  
激しく打ち鳴らされるビートと

クとしてロック〜パンク世代の若者たちをも魅了し、更にワールド・ミュージック・シーンとも共振しながら1990年代には「ネオタランティスモ」と呼ばれるムーヴメントをイタリア全土で引き起こしてゆく。タランテッラは近年、イタリア民俗音楽系ポップ・ミュージック(ワールド・ミュージック)として世界中で注目を集めているが、ここに至る流れを牽引してきた最大の貢献者がCGSだったと言っている。彼らは、2018年にはワールド・ミュージック系の英国雑誌「Songlines」から年間ベスト・ワールド・ミュージック・グループ賞も授与されている。現在CGSを率いるマウロ・デュランテは私とのインタビューで「幼い頃からの最大の夢は我々の伝統音楽を世界中に知られるようにすること、そしてサンバやフアド、バルカン音楽などに続く地位をつかむことだった」と語ったが、まさに今それは実現しつつある。

マウロ・デュランテ(タンブレッコ／ヴァイオリン／ヴォーカル)は、バンド初期のリーダー、ダニエーレ・デュランテの息子として幼少時からピッツィカ／タランテッラと共に育ち、1998年、14才の時にバンドに正式加入。2007年にリーダーに就任してからは、有能な若手メンバーを次々に引き入れつつ、清新なサ

ウンド作りとステージ・パフォーマンスを推進してきた。そこには、ポリスのドラマーだったスチュワート・コーブランド、ロバート・ブランドのサポートやティナリウエンのプロデュースなどにより“英国のライヴ・グライダー”とも呼ばれるギタリストのジャスティン・アダムズ、あるいは人気作曲家ルドヴィコ・エイナウディや超人チェロ奏者ジョヴァンニ・ソッリマといった異ジャンルの先鋭的音楽家たちとコラボレートしてきたマウロの演奏家としての多彩な経験もしっかり反映されているはずだ。

CGSの現在の正式メンバーは、タンブレッコ(大型タンバリン)、オルガネット(ダイアトニック・ボタン・アコーディオン)、ギター／ブズーキ、ヴァイオリン、バグパイプなどのプレイヤーと女性ダンサーの計7人。激しく打ち鳴らされるビートと情熱的な旋回舞踊が巻き起こす興奮とトランシーな快感は、モロッコのグナワや中東のダブケ、あるいは日本の阿波踊りなどにも劣らない。その熱狂的スペクタクルはきっと、太古より様々な民族が去来していくもの文明／文化(ギリシャ、ローマ、トルコ、アラブ、ノルマン等々)が混交してきた地中海の夢の十字路へと私たちをいざなってくれるだろう。

## COLUMN

9月17日[日]16:00開演

出演＝カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ  
会場＝PLAT主ホール

南イタリア伝統音楽&舞踊

## 灼熱のタランテッラ

世界中が熱狂する最高峰アーティストによる”毒グモの舞”!



### プラット親子わくわくプログラム 2023

#### 『くるみ割り人形外伝』 8/19 [土] 14:00 開演 **好評発売中**

劇作家・演出家としての活躍目覚ましい根本宗子がPLAT初登場。世界中で愛されるバレエの名作『くるみ割り人形』をもとにした、お芝居／バレエ／踊り／歌／音楽と見どころ満載のステージです。大道芸inとよはしでも圧巻のパフォーマンスをみせた姉妹ユニット、チャラン・ポ・ランタンにもご注目ください。

作・演出＝根本宗子  
音楽＝小春(チャラン・ポ・ランタン)  
出演＝澤田杏菜、中村鶴松、一色洋平、もも(チャラン・ポ・ランタン)、山之口理香子  
会場＝PLAT主ホール  
料金＝[全席指定]一般 5,000円、U25 2,500円、こども(高校生以下)500円

#### 『エブリ・ブリリアント・シング』 9/1 [金] 19:00 開演 **好評発売中**

9/2 [土] 14:30 開演  
9/3 [日] 14:30 開演  
9月2日のみ  
2023マイセレクト4

作＝ダンカン・マグミラン、ジョニー・ドナヒュー  
翻訳・演出＝上田一豪  
演出補＝桐山知也  
出演＝佐藤隆太  
会場＝PLATアートスペース  
料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付]一般 4,500円、U25 2,200円、高校生以下 1,000円



撮影：御堂義典

#### 託児サービス対象公演

要予約。生後6ヶ月以上。  
お一人様500円。お申込み、お問合せはプラットチケットセンターまで

#### マイセレクト4 対象公演

マイセレクト4  
2023



撮影：新谷光太郎

#### アル☆カンパニー **好評発売中**

『POPPY!!!』  
9月16日のみ  
2023マイセレクト4

9/15 [金] 19:00 開演  
9/16 [土] 13:00 開演  
平田満と井上加奈子によるアル☆カンパニーの新機軸であるアル☆カンパニー・ラボの『POPPY!!!』が早くも再演。くたくたしているようにみえて意外にまじめで純情、そしてやさしく熱い、がんばらない人たちのがんばるお話。

作・演出＝野田慈伸  
出演＝平田満、井上加奈子、町田水城、平田耕太郎、徳橋みのり、青山祥子  
会場＝PLATアートスペース  
料金＝[全席指定]一般 4,000円ほか  
※15日(金)終演後トークあり。

[助成]文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

#### 南イタリア伝統音楽 & 舞踊 灼熱のタランテッラ

9/17 [日] 16:00 開演 **好評発売中**

2023マイセレクト4

出演＝カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ  
会場＝PLAT主ホール  
料金＝[全席指定]一般 4,000円ほか  
※小学生～18歳無料招待あり。

#### 【関連ワークショップ】 イタリア伝統楽器・タンブレッコを 体験する

9/17 [日] 14:30～15:15  
イタリア南部の文化に関する小話やダンスを交えて、イタリアの伝統楽器「タンブレッコ」の魅力を伝えます。  
※本公演のチケットをお持ちの方のみご参加いただけます。  
講師＝カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ  
会場＝PLAT創造活動室A  
参加費＝無料  
定員＝30名(先着順)  
申込方法＝①プラットチケットセンターの窓口・電話(0532-39-3090)で申込み②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み



#### 野村万作・野村萬斎 **好評発売中**

9/22 [金] 14:00 開演 / 18:30 開演

人間国宝・野村万作と、現代劇や映画でも活躍する野村萬斎ほか「万作の会」による狂言公演です。  
出演者＝野村万作、野村萬斎、ほか万作の会  
演目＝末広がり、月見座頭、越後聲 祝言之式  
会場＝PLAT主ホール  
料金＝[全席指定]S席 5,000円、A席 3,000円ほか

#### 障害×老い×ディスカッション 『うけいれる身体・うけいられない身体』

10/7 [土] 14:30 開演

東京都に住む60歳を超えた4名の重度脳性麻痺の方たちへの取材から創り上げた、ドキュメンタリー演劇の上演と、「多様な人々が共に暮らす社会とは」「老いとは、ケアとは」などについてのディスカッションを行います。  
会員先行・一般＝8月19日(土)  
進行・構成＝柏木陽  
出演＝柏木陽、山本雅幸、有吉宣人、大塚由祈子、石田迪子  
会場＝PLATアートスペース  
料金＝[全席自由・整理番号付]一般 1,000円、U25 500円

#### 劇団四季ファミリーミュージカル 『ジョン万次郎の夢』**予定枚数終了**

10/1 [日] 16:30 開演 **共催**

幕末、日本人で初めてアメリカへ渡ったとされ、日米の架け橋として幾多の業績を残した中浜万次郎(ジョン万次郎)の半生を描いた四季オリジナルのファミリーミュージカル。  
初演オリジナル台本・構成・演出＝浅利慶太  
作曲＝三木たかし  
振付＝加藤敬二  
会場＝PLAT主ホール



撮影：阿部章仁

#### ミュージカル『天翔ける風に』

10/19 [木] 18:00 開演  
10/20 [金] 13:00 開演  
10/21 [土] 13:00 開演  
10/22 [日] 13:00 開演

10月21日のみ  
会員先行＝7月29日(土)  
一般＝8月19日(土)  
演出・振付・作詞＝謝珠栄  
原作＝ドストエフスキー  
脚色＝野村秀樹『贖作・罪と罰』より  
出演＝珠城りょう、屋良朝幸 / 今拓哉、東山義久、原嘉孝、加藤梨里香 / 駒田一、剣幸ほか  
会場＝PLAT主ホール  
料金＝[全席指定]S席 一般 10,000円、A席 一般 7,000円ほか  
※発売日初日は、お一人様1申込につき1公演4枚まで枚数制限有り。  
※小学生～18歳の無料招待あり。  
※10月21日(土)は聴覚に障がいのあるお客様のためのポータブル字幕機の貸出あり(要事前申込)。



#### 高校生と創る演劇

11月4日 13:00のみ

『101年目の夏休み』  
11/3 [金・祝] 13:00 開演 / 18:00 開演  
11/4 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演  
11/5 [日] 13:00 開演

東三河の高校生と、劇場やプロのスタッフがともに創作する演劇公演の第10弾。2019年度市民と創造する演劇『グッバイ・フランケンシュタインー穂の国の怪物たちー』にて作・演出を務めた「青☆組」の吉田小夏を作・演出に迎え、PLATオリジナルの作品を上演します。  
会員先行＝9月2日(土)  
一般＝9月16日(土)  
作・演出＝吉田小夏  
会場＝PLATアートスペース

料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付]一般 2,000円、U25 1,000円、高校生以下 500円  
[助成]文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2) | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
[特別協賛]サーラグループ

#### 【関連企画】 ぶらっとおしゃべり 「高校生と創る演劇」の魅力に迫る

9/24 [日] 14:00～15:00  
作・演出の吉田小夏とPLATスタッフが、高校生と創る演劇の魅力と今作の見どころをご紹介します。  
会場＝豊橋市まちなか図書館2階 中央ステップ  
参加費＝無料(事前申込不要)

#### 『ロスメルスホルム』

10月29日のみ  
10/28 [土] 17:00 開演  
10/29 [日] 13:00 開演

「近代演劇の父」と称されているノルウェーの劇作家ヘンリック・イブセン。イブセンの作品の中で最も複雑で多面的な演劇という評価がある一方、最高傑作のひとつともいわれる本作品を、2019年読売演劇大賞・最優秀演出家賞に輝いた日本演劇界の巨匠・栗山民也が手掛けます。観客の想像力を刺激する演出とともに、物語のもつ命題にどのように迫るのか注目です。  
会員先行＝8月26日(土)  
一般＝9月9日(土)  
原作＝ヘンリック・イブセン  
脚色＝ダンカン・マグミラン  
翻訳＝浦辺千鶴  
演出＝栗山民也  
出演＝森田剛、三浦透子、浅野雅博、谷田歩、櫻井章喜、梅沢昌代  
会場＝PLAT主ホール  
料金＝[全席指定]S席 10,000円、A席 7,000円ほか  
※発売日初日は、お一人様1申込につき1公演2枚まで枚数制限有り。





# PICKUP

## ピックアップ



撮影：伊藤華織

### 穂の国とよはし芸術劇場

#### PLATプロデュース

## 『たわごと』

### 【速報】タイトル決定!

穂の国とよはし芸術劇場PLATは開館10周年を迎えました。PLATプロデュース公演第3弾として、芸術監督の桑原裕子が作・演出を手掛ける新作公演を、豊橋、東京、京都、岡上で上演します。

寄り辺なき人々の生きづらさに焦点を当て、今を生きる人々を見つめなおす。言葉にできない寂しさや、守られない約束、行き場のない声。私たちは何をよすがに生きていくのか。

作・演出＝桑原裕子  
出演＝渋川清彦、田中美里、谷恭輔、松岡依都美、松金よね子、渡辺いっけい

### 【豊橋公演】

11/16 [木] 19:00 開演

11/17 [金] 13:00 開演

11/18 [土] 13:00 開演

11/19 [日] 13:00 開演

会場＝PLAT主ホール

※17日(金)、18日(土)終演後トークあり。  
【特別協賛】サーラグループ

【豊橋・東京公演 共通事項】

会員先行＝9月9日(土) 一般＝9月23日(土)

料金＝[全席指定]S席5,500円、S席ベア10,000円、A席3,000円ほか

【助成】文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



11月18日のみ

### □字ック

## 『剥愛』

11/22 [水] 19:00 開演

11/23 [木・祝] 14:30 開演

演劇演出、映画監督、テレビドラマ演出、脚本、小説執筆と多岐に渡る活動で才能を発揮するクリエイターの山田佳奈が主宰する「□字ック」の本公演。□字ックとしては、2021年2月に本多劇場で上演した『タイトル、拒絶』以来、2年8ヶ月ぶりの公演です。

会員先行＝9月16日(土)

一般＝9月23日(土)

脚本・演出＝山田佳奈

出演＝さとうほなみ、瀬戸さおり、山中聡、岩男海史、柿丸美智恵、吉見一豊

会場＝PLATアートスペース

料金＝[全席指定]一般4,000円ほか

### 【関連企画】

#### □字ック

### 舞台映像上映会&山田佳奈トーク

9/9 [土] 13:00～15:30

### 【東京公演】

12/8 [金]～17日 [日]

会場＝東京芸術劇場 シアターイースト

### 【京都公演】

11/23 [木・祝]

会場＝ロームシアター京都 サウスホール

お問合せ＝ロームシアター京都 チケットカウンター  
(075-746-3201)

### 【岡山公演】

11/26 [日]

会場＝岡山芸術創造劇場 ハレノワ 中劇場

お問合せ＝岡山芸術創造劇場ボックスオフィス  
(086-201-2200)

旗揚げ10周年企画として2021年に上演された『タイトル、拒絶』を上映します。上映後はトークをおこないます。会場限定チケット先行販売あり。

ゲスト＝山田佳奈

会場＝PLAT創造活動室A

参加費＝1,000円(本公演チケットを会場にて購入の方は無料)

定員＝50名(先着順)

申込方法＝①プラットフォームチケットセンターの窓口・電話(0532-39-3090)で申込み②劇場ホームページの専用申込フォームより



# ONE CON CONCERT

## ワンコインコンサート

# WORKSHOP

## ワークショップ

# TICKET CENTER

## チケットセンター

### 若手音楽家育成事業 好評発売中

## プラットフォームワンコインコンサート

「若い音楽家には活躍の場を、お客様にはより音楽を楽しめる機会を」と企画されたPLATオリジナルのワンコインコンサートです。500円で贅沢なひとときをお過ごしください。

会場＝PLATアートスペース  
料金＝[全席自由・整理番号付]500円

### 9/8 [金] 14:00 開演

## 『詩人アイヒェンドルフの森』

千賀とゆり&安成紅音リートデュオ  
千賀とゆり(ソプラノ)、安成紅音(ピアノ)

### プラットフォームワンコインコンサート 2023

## 下半期出演者&コンサート日程決定!

オーディションを経て、今年も魅力あふれる演奏家たちが揃いました。瑞々しい音楽家たちにぜひご注目ください!コンサートの開演時間等の詳細は今後順次発表いたします。

### 2024/1/3 [水]

## 高柳鞠子(フルート)

会員・一般発売＝10月21日(土)

### 2024/2/15 [木]

## デュオ・ミスコラーレ

松山美津穂(ピアノ)、伊井夕雛(ピアノ)

会員・一般発売＝10月21日(土)

### 2024/3/19 [火]

## Femme Fatale

安間誉和(作曲・ピアノ)、山本大地(ヴァイオリン)、鈴木崇朗(バンドネオン)、悦木啓人(作曲・ベース/クラリネット)、長谷川志樹(ピアノ)

会員・一般発売＝2024年1月3日(水)

### 8/27 [日]

## ワークショップ縁日

夏休み最後の日曜日は、いつもと違う日を劇場で過ごしてみよう!

### 『えんげきとあをぼう』

2日間かけて演劇のゲームで体をほぐしつつ、オリジナルの物語を作り、最後に発表します。

日程＝8月26日(土)10:00～15:00、8月27日(日)10:00～12:00

会場＝PLAT創造活動室A

定員＝15名(先着順)

参加費＝無料

対象＝小学1～6年生、2日間とも参加できる人  
申込方法＝①申込書に必要事項を記入の上、窓口に参加FAX(0532-55-8192)②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み

### 『げきじょうであをぼう』

劇場のいろんな部屋に、カラダを使ったゲームや演劇づくりが出来るコーナーを用意しています。

日程＝8月27日(日)12:30～15:30(予定)

会場＝PLAT創造活動室Aほか

参加費＝無料

対象＝小学校以上

申込方法＝8月21日(月)10:00より劇場ホームページの専用申込フォームより申込み

### 『お店をつくろう!』

## 小さなまちづくりプロジェクト

アートスペースいっばいにこどもたちが考えたまちを展示します。

日程＝8月25日(金)13:00～17:00、8月26日(土)10:00～17:00、8月27日(日)10:00～17:00

会場＝PLATアートスペース

料金＝無料(申込不要)

### チケットの購入・お問合せ

## プラットフォームチケットセンター

●劇場窓口・電話

0532-39-3090[休館日を除く10:00～19:00]

●オンライン

http://toyohashi-at.jp[24時間受付・要事前登録]

●チケット販売

販売初日はオンライン・電話のみ取り扱い。翌日以降、残席がある場合は窓口販売あり。

### U25・高校生以下割引と案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。

●料金＝U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:1,000円

●購入方法＝各公演の一般発売初日から取扱い。

●その他＝本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



### プラットフォームフレンズ募集

## 入会金・年会費無料

特典

- 1 公演情報をメールでご案内します。
- 2 インターネットでチケット予約ができます。
- 3 主催公演のチケットを一般発売に先かけてご予約できます。

※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

### 18歳以下のお子様を

## 無料で招待

[座席限定・事前申込制]

文化庁による子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)として、以下の公演が採択されました。ぜひこの機会をご活用ください。

公演によって申込方法が異なります。詳細は劇場HPにてご確認のうえお申込みください。

### 9/17 南イタリアの伝統音楽 & 舞踊

## 灼熱のタランテッラ

### 10/19-22 ミュージカル『天翔ける風に』

## 2024/1/12-14 『海をゆく者』

対象＝公演当日に小学生～18歳の方





# PURAPURA

バラコの  
寄り道ぷらぷら

## 「演劇少女からの呼び声」 穂の国とよはし芸術劇場 芸術監督 桑原裕子



出番だよ!と呼び出しがかかると。急いで舞台に向かうが、はたと気がつく。

私、このシーンの稽古したっけ……?

登場のきっかけは何だったろう。立ち位置は?動きは?それどころか、台詞は?!

何もわからない、思い出せない。慌てて台本をめくると指示などどこにも書いていない。しかし出番は迫り、パニックになりながら仲間について行く。ええい、まよー

役者を経験したことがあるのなら、一度は見たことがありませんか。こんな夢を。

何もわからない舞台に出ていくなって、なんたる恐怖。冷や汗をかいて目を覚まし、夢で良かったと安堵する。しかし私はつい最近、この夢のようなことを現実で体験していました。

現在、『少女都市からの呼び声』という舞台に出演しています。唐十郎氏、初期の代表作と言われる名作です。演出は新宿梁山泊の金守珍氏。状況劇場出身の金さんが、唐さんへの愛と敬意を込めて作り上げる最強タッグの舞台に、演劇生活30年となる私、ついに初挑戦と相成ったわけです。現代口語演劇と呼ばれる場所からしらずとスタートした私にとっては、アンダーグラウンドは完全なる未知の世界です。

私が演じるのは看護婦。戯曲を読む限り登場するのは2回だけ。ふむ、これならさほど苦勞せず台詞も入るし、もしかして凄く楽?しかしそんな甘い考えはすぐに吹っ飛びました。

稽古二日目にしてすぐに立ち稽古。看護婦は冒頭に登場してしばらく出てこないはずと思っていたら、次の“乞食老人”たちの

シーンでも登場するというのです。な、な、何をすれば?慌ててノーマークだった台詞をその場で叩き込み、他のキャストたちに交じって見よう見まねで演技。するとまた次のシーンでも「桑原さんここ出るよ!」「桑原さん!」……新たなシーンへ進むたび次々駆り出されるも、台本には当然、看護婦に対応したト書きはなく、もはやをこで求められるのは看護婦でもない新たな役どころ。パニックになりながら登場し、怒濤のスピードで進む演出にもまれながら、気がつけばほとんどのシーンに出没することになっていました。

まさしく、あの夢で見た光景です。かと思えば“乞食老人”も3日ほど立ち稽古して馴染んだ直後、「あれ?桑原さんなんで出てるの?ここは出ないよ」と金さん。ですよね……その時はさすがに笑ってしまいました。

加えて恐怖の一言が演出家・金さんから「桑原さん、これできる?」です。稽古に行くたび、毎日金さんから「これできる?」と、例えばサイコロをグラスに入れてシェイカーのごとく派手に振り回す動きや、新体操のリボンを縦横無尽に振り回して踊るといったフィジカルな課題をもらうのですが……この不器用な私。当然最初からできるわけもなく、サイコロはそら中に吹っ飛びリボンは体に巻き付くわ。毎日小道具を自宅に持ち帰り、真夜中に近所迷惑も顧みず腕がしびれるまでグラスを回し、猫に飛びつかれながらリボンを振り回し、と汗かくで自主稽古。ええ、弱音など吐けません。だって新宿梁山泊の常連若衆いわく、「できませんはないです、やるんです」。もし金さんに

「これできる?」と言われたら、サーカス団のようなジャグリングであろうが大正琴であろうが、やりてなすべく皆一様に猛特訓してるのですから。強制してやらされるのではなく、やりたい!やってみせる!と駆り立てられるのが金さん演出の凄さです。

こんな経験いつ以来かしらん。日々ドキドキと緊張し(特に唐十郎御大が見学に来られたときは心臓が飛び出るかと思いました)、昨日でできなかったことを今日クリアして、難解な台詞に理解を深めていく。それはまるで高校時代の演劇少女に戻ったような日々。稽古が終わるとメイクを落とす力もないほどぐったり疲れ果てますが、同時に純真な創作探求の悦びを感じています。一緒に頑張っているキャストたちが心から愛おしくなり、青臭い友情を感じます。また、それまで美しくも理解不能だった台詞の数々が、舞台上に立ち上がっていく過程の中であるとき突然、「こんなにも切ないことを言ってたのか!」と腹落ちする瞬間に胸が震えます。

いくつになっても人は学ぶし、成長できるんだなあと感じたのは、38才にして車の免許を取った時以来かも知れません。今ではサイコロも落とさなくなりましたし、5メートルのリボンを振り回せるようになりました。

上演中、と書きましたが、これを書いている現在は劇場入り直前。太鼓のように鳴り響く我が胸の鼓動がぶっ壊れないか心配な一方、絶対元気に舞台の上で生きてやるとも思うのです。

演劇とは生の実感であり、生への執着なんだわ。演劇少女の独り言でした。

# SPONSOR

広告募集

知識製造業  
三遠機材株式会社  
http://www.san-en.co.jp

Gallery 48  
呉服町48 TEL.54-4848

有限会社 魚伊  
電話 52-5256

グロリアンピアノ地域特約店  
白羽楽器 株式会社  
電話 053-464-3015

ケンチワ 701  
KURONO ARCHITECT STUDIO  
y.qlo0170@gmail.com

看板広告 アラキスタジオ  
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら  
精文館書店  
TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる  
株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科  
医療法人栄真会 伊藤医院  
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283 (代)

創業文政年間  
日妻 築坂 きく宗  
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。  
豊橋調理製菓専門学校  
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL53-2809

豊橋銀行協会 (順不同)  
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行  
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 三十三銀行  
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶屋菓子専門店  
若松園  
御菓子司

気まぐれコンサート  
事務局/0532-62-9259 (小川)

安心・安全な地下駐車場  
パワ500  
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は  
30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科  
医療法人 塩之谷整形外科  
理事長 塩之谷 昌  
豊橋市植田町関取54 電話0532-25-2115(代)

豊橋名産 舟ちくわ

井上皮フ科クリニック  
診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00  
土 10:00~14:00 休診日=水・日・祝  
電話0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。  
共和印刷株式会社  
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科  
医療法人 大岩整形外科・皮フ科  
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆  
書道用品専門店  
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得  
株式会社 三光製作所  
三光精密工業株式会社  
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

sala  
サーラグループ



# SUPPORT

特別賛助会員のご紹介

私たちは穂の国とよはし芸術劇場の活動を支援しています。

- 株式会社アイセロ
- 旭精機株式会社
- 株式会社イクモ
- 税理士法人イグラ会計
- イノチオホールディングス株式会社
- 株式会社エクステージ
- 大和田和恵
- 株式会社オリエント楽器
- 医療法人佳道会 藤城歯科医院
- 蒲郡信用金庫
- 川西塗装株式会社
- 河原崎 妙
- 株式会社呉竹荘ホテルズ 豊橋ステーションホテル
- 株式会社三光製作所
- 三光精密工業株式会社
- サーラエナジー株式会社
- 株式会社サーラコーポレーション
- 三遠機材株式会社
- 株式会社東雲座カンパニー
- 株式会社シュガーサウンド
- 大三紙業株式会社
- トヨタネ株式会社
- トヨネン株式会社
- 株式会社豊橋印刷社
- 豊橋芸術文化事業サポート株式会社
- 豊橋ケーブルネットワーク株式会社
- 豊橋信用金庫
- 豊橋鉄道株式会社
- 中野博三
- 早川直宏
- 株式会社平松食品
- 株式会社 三光製作所
- 藤城建設株式会社
- 学校法人藤ノ花学園
- 株式会社豊川堂
- 松井商事株式会社
- 村田小児歯科センター
- 物語コーポレーション
- 有楽製菓株式会社 豊橋夢工場
- 若松園
- 匿名会員1名 (五十音順)

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地  
電話=0532-39-8810[代表](9:00-20:00)  
開館=9:00-22:00 休館日=第三月曜・年末・年始。  
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。  
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、  
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、  
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

## 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT